

教員の受賞・研究成果・採択

理工学部 教授 三栄ハイテックス、国立情報学研究所、
竹内 健 リトルウイングとの共同実施

NEDO 技術開発委託事業に採択

理工学部 電気電子情報通信工学科 竹内健教授を代表として提案した、新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の技術開発委託事業に採択されました。「データ量の増大」と「消費エネルギーの増大」の課題を解決する次世代データセンタに関する技術、並びに、2030年以降を見据えたポストムーア時代のコンピューティング技術として、消費電力性能を劇的に改善するなど既存技術の延長線上にない高速化と低消費電力化を両立するコンピューティング技術の確立を目指す事業です。

法学部 教授 日本電気株式会社、沖電気工業株式会社、国立大学法人
工藤 裕子 東京農工大学、豊田通商株式会社、国立大学法人東京大学、
国立大学法人名古屋工業大学、および国立研究開発法人
産業技術総合研究所との共同実施

戦略的イノベーション 創造プログラム（SIP）第2期採択

「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第2期/ビッグデータ・AIを活用したサイバー空間基盤技術」の研究開発項目「AI間連携基盤技術」に関する国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構の公募事業に、日本電気株式会社（NEC）を研究開発責任者とする提案が採択されました。本学から、法学部 工藤裕子教授が研究開発チームに参画しています。

本提案では、社会の様々な分野でのAI活用の進展に伴い生じる、システムでは対応できない利害調整の必要性に対し、AI間連携によるバリューチェーンの効率化・柔軟化を実現し、我が国の産業競争力強化に資することを目指します。

経済学部 教授
赤羽 淳

2018年度中小企業研究奨励賞を受賞

経済学部 赤羽淳准教授（受賞当時）と桜美林大学 土屋勉男客員教授、桜美林大学 井上隆一郎教授との共著『アジアローカル企業のイノベーション能力-日本・タイ・中国のローカル2次サプライヤーの比較分析』（同友館）が第43回中小企業研究奨励賞（経済部門・準賞）を受賞しました。中小企業研究奨励賞は、商工中金の創立40周年を記念して昭和51年に創設された歴史と権威のある賞です。2018年度は合計96点の応募がありましたが、同著はアジアローカル企業に注目したユニークな視点と足掛け6年に渡る実態調査が評価されて、受賞に至りました。

理工学部 准教授
酒折 文武

数学科 酒折研究室が第8回スポーツデータ コンペティション・分析部門 特別賞を受賞

【受賞者】※学年は受賞当時

酒折文武准教授、朝倉剛一さん（数学科4年）、熊倉徹さん（数学科4年）、佐藤雄太さん（数学科4年）、藤悠介さん（数学科4年）

本学公式 Web サイトに掲載された記事を中心にご紹介します。
< 2018年10月～2019年4月 >

文学部 教授

鈴木 俊幸

やまなし文学賞（研究・評論部門）受賞

【受賞著書】

『近世読者とそのゆくえ 読書と書籍流通の近世・近代』

「第27回やまなし文学賞」（研究・評論部門）を受賞。

この賞は、山梨県にゆかりの深い樋口一葉の生誕120年を記念し、山梨県の文学振興と日本の文化発展の一助として、1994年に制定されたものです。受賞著書では、近世後期、自学用の本で四書を学び、漢詩を作るまでになった広範な「近世読者」は、明治以降どのように存続・変容したかを多様な史料から掘り起こしています。

理工学部 教授

松本 浩二

日本冷凍空調学会学術賞を受賞

理工学部 精密機械工学科 松本研究室が「2018年日本冷凍空調学会学術賞」を受賞しました。

【受賞対象者】※学年は受賞当時

松本浩二教授、江原昂平さん（修士2年）、上田純さん（修士2年）、梅原友理さん（修士1年）

【対象論文】

SPMによる表面温度一定条件下での様々な金属表面への氷の付着力のナノスケール測定

法学部・法学研究科 教授

西海 真樹

「エクспロラシオン・フランス2019」に 法学研究科の研究教育プログラムが採択

在日フランス大使館が公募する「エクспロラシオン・フランス2019」に、法学研究科の研究教育プログラムが採択されました。「エクспロラシオン・フランス2019」は、日本の高等教育機関、研究機関または企業に在籍する研究者が、それぞれの専門分野でフランスの研究活動に対する理解を深め、そのような研究者による日仏間の科学協力の発展・充実を期待して、助成を行うものです。

【プロジェクト名】

中央大学とフランスの諸大学の間におけるダブル・ディグリー・プログラム、ジョイント・ディグリー・プログラムの構築と、研究会・シンポジウムの実施

(Double Master Degree programme, Joint Doctor Degree Programme and joint seminars/conferences between Chuo University and French Universities.)

【目的等】

- ・法学修士レベルのダブル・ディグリー・プログラム、ジョイント・ディグリー・プログラムの構築の検討および研究会、シンポジウムの開催等によって、中央大学とエクス=マルセイユ大学、トゥール大学、ストラスブール大学との間の研究教育協力を発展させる。
- ・比較法研究の観点から教員間の研究教育協力を強化する。
- ・プログラム参加学生に、グローバル化した世界における比較法の文化と精神を修得させる。

理工学部 助教 理工学部 教授

池 勇勳 梅田 和昇

計測自動制御工学会システムインテグレーション部門講演会で優秀講演賞を受賞

理工学部 精密機械工学科 池勇勳助教、梅田和昇教授が2018年12月に行われた第19回計測自動制御工学会システムインテグレーション部門講演会でSI2018 優秀講演賞を受賞しました。

【受賞講演】

人工物環境における直線情報を用いたカメラの外部パラメータ推定法

【受賞者】

池 勇勳助教（中央大学）、山下 淳准教授（東京大学）、梅田 和昇教授（中央大学）、浅間 一教授（東京大学）

理工学部 教授

小松 晃之

タンパク質結晶が国際宇宙ステーション「きぼう」日本実験棟に打ち上げられる

理工学部 応用化学科 小松晃之教授の研究チームは、宇宙航空研究開発機構（JAXA）と共同で「宇宙空間における高品質タンパク質結晶生成実験」を進めています。2019年4月4日20時1分（日本時間）、理工学研究科博士3年 船木亮佑さん、修士2年 岡本 航さんが合成した遺伝子組換えヘモグロビン（“人工血液”の原料となる物質）が、バイコヌール宇宙基地からプログレス宇宙船（ロシア）で国際宇宙ステーション（ISS）へ打ち上げられました。4月5日より「きぼう」日本実験棟の船内実験室で軌道上実験が開始されています。厳密な温度管理のもとで作成されたタンパク質結晶は6月初旬に回収され、ソユーズ宇宙船で地上へと輸送される予定です。

研究者情報データベースを刷新

— 中央大学の研究情報が見やすく —

「中央大学研究者情報データベース」は、本学に所属する専任教員のプロフィール、研究業績や研究テーマ等をデータベースにし、教員名、所属、研究分野などさまざまな切り口から検索できるシステムです。

本データベースの一部は独立行政法人科学技術振興機構が管理するresearchmapとも連動しており、本学の研究業績を広く世界に発信する起点となっています。

検索しやすく、そして見やすくなった新しい「中央大学研究者情報データベース」を是非ご利用ください。

こちらの URL よりサイトをご覧ください

<http://researchers.chuo-u.ac.jp/scripts/websearch/>